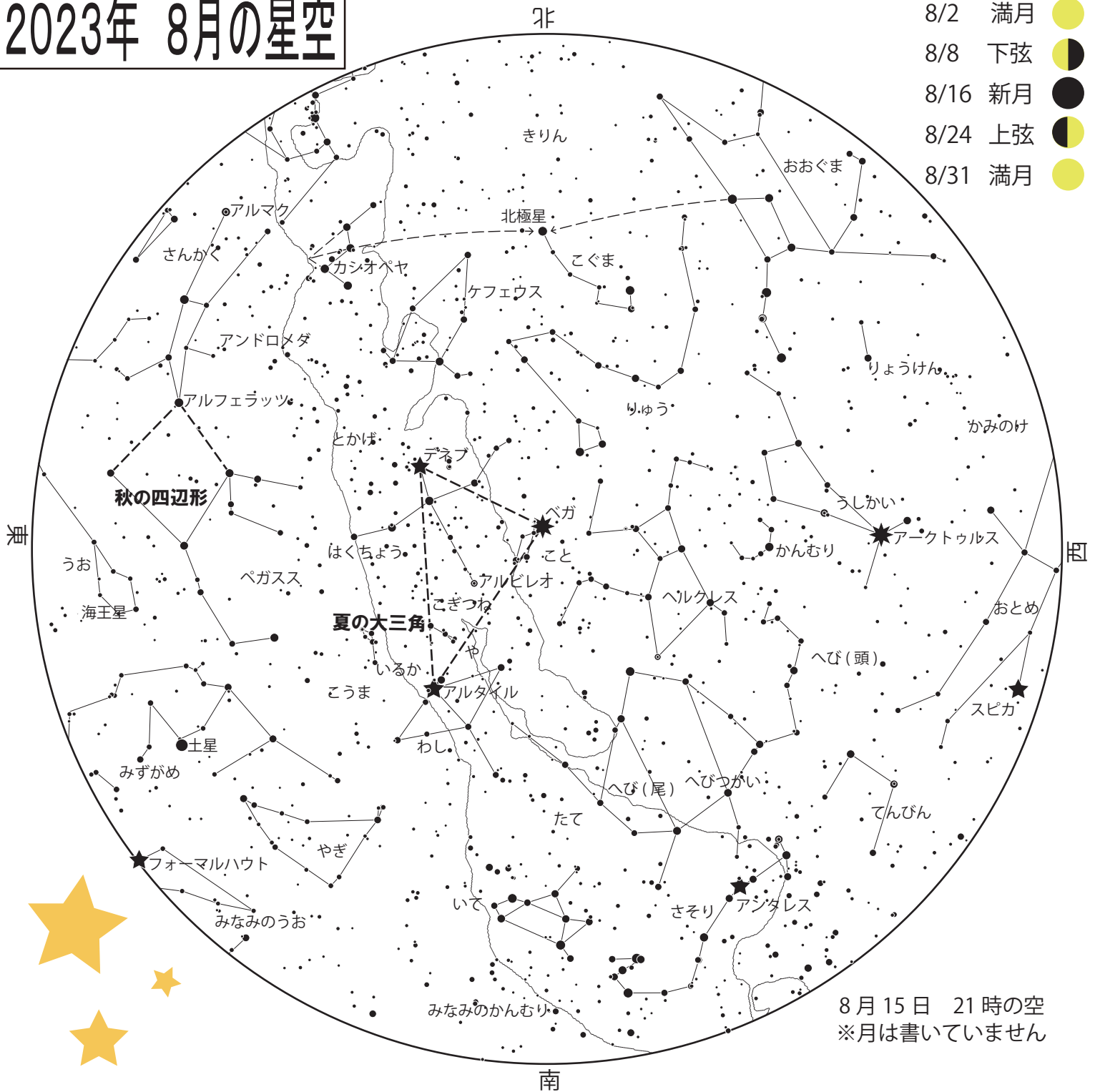


# 姫路で見る 2023年 8月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 8/2 満月 
- 8/8 下弦 
- 8/16 新月 
- 8/24 上弦 
- 8/31 満月 



8月15日 21時の空  
※月は書いていません

空高いところに、明るい星3つで作る大きな三角形「夏の大三角」がよく目立っています。明るい順番にこと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブです。ベガは七夕の織姫星、アルタイルは彦星とも呼ばれます。街明かりの少ない所では「夏の大三角」の中を流れる天の川も見られます。

天の川を南へとたどっていくと、赤い色をしたさそり座の一等星アンタレスが見つかります。周りの星をつなぐとアルファベットのS字型に星が並んでいて、分かりやすい星座のひとつです。隣からはいて座がさそりの心臓をねらっています。

東の空には秋の星座も見え始めています。秋の星座で見つけやすいのはペガサス座の胴体「秋の四辺形」や、その北側にあるW字型のカシオペヤ座です。北の空、カシオペヤ座や北斗七星からは北極星を探ることができます。

中旬頃から南東の空で土星が観察しやすくなります。これから秋にかけて観望の好機です。